

教科・科目	国語・国語総合 (古文)	授業タイトル	「雪のいと高う降りたるを」『枕草子』
-------	-----------------	--------	--------------------

授業の内容（全4時間のうちの第3時）

単元の目標

- (1)助詞・助動詞や敬語の用法を理解し、正確に訳すとともに文法事項について説明することができる。【情報分析活用力・論理的思考力】  
(2)登場人物の思いを表現を根拠にして読み取り説明することができる。【情報分析活用力】  
(3)随筆を読むことにより自分の考えを広げたり深めたりし、筆者の考えと比較して説明することができる。【垣根を越える力】

本時の問 「この宮の人」に求められたのはどんな力だと考えられるか、説明せよ。

- 個人活動 自分の答えを書く。  
ペア活動 答えに到る道筋の説明をする。【論理的思考力】  
全体活動 解き方の確認をする。  
個人活動 これまでの学習内容を参考にしながら再度答えを書く。【情報分析活用力】  
他の生徒の答案を見る。  
全体活動 ランダムに指名された生徒がクラスメートの書いた優れた答案を紹介する。  
個人活動 本時の学びをまとめ、振り返る。

授業のねらい

探究型授業をめざして、1時間の授業のうちに

- ①「既知の組み合わせで未知の問題が解決できる」喜び = **挑戦**
- ②「一人では難しくてもみんなでやれば解決できる」安心 = **協働**
- ③「今日学んだことがいつか使えるかもしれない」展望 = **創造**

のどれかが感じられる授業にしたいと考えています。また、単元目標、本時目標として、i コンピテンシーを意識するようにしています。

自分一人で考える時間と、ペアで話し合う時間に加え、お互いのノートを見て回る活動、教材提示装置を用いてクラスメートの解答のよいところを紹介する活動など、一人ではできない学びができる1時間をめざしています。

なお、第4時は新聞記事（若手俳優のスピーチ、若者に人気のあるミュージシャンのSNS上の発言）など複数の文章を参考に提示したうえで古典を学ぶ意義について、自分の考えを筆者の考えと比較して書く。」活動をしました。生徒の中には、古典を学ぶ意義として「漢詩を学んだことを意識して行動するすばらしさ」「学んだことを仲間と共有できる喜び」「自分たちの学びが未来につながる」といった記述も多く見られました。

写真または動画

